

4 プラネタリウム

(1) プラネタリウムの構成

- ・ プラネタリウムドーム 直径 16m
- ・ 座席数 180 席
- ・ プラネタリウム機器
 - 光学式投映機
 - (五藤光学 CHRONOS II)
 - デジタル式投映機
 - (五藤光学 VIRTUARIUM II)
- ・ 音響装置
- ・ コントロールコンソール
- ・ 補聴装置 (磁気誘導ループ方式)

(2) 各種投映

ア 一般投映番組

前半に星空解説、後半にオート番組の 2 部構成で投映を行った。

星空解説部分については、職員による生解説で投映当夜の星空を紹介した。

(ア) 「470 億光年の、その先へ—宇宙のはてを探す旅—」

カノンの調べと共に星空の果てを探して旅をする、宇宙の不思議を伝えるサイエンス・ファンタジー作品。



投映期間 2023 年 3 月 8 日 (水)～7 月 9 日 (日)

(イ) 「水の惑星 -星の旅シリーズ-」

水が存在し、生命に溢れる地球独自の環境を、美しい海と星空のタイムラプス映像と共に紹介する番組。



投映期間 7 月 15 日 (土) ～10 月 9 日 (月)

(ウ) 「虹の天象儀 SKYFUL OF RAINBOW」

実在した東日天文館を舞台に、戦時中、現在、未来のプラネタリウムの担い手たちが時空を超えて繋がるサイエンス・ファンタジー作品。プラネタリウム 100 年を記念して投映。

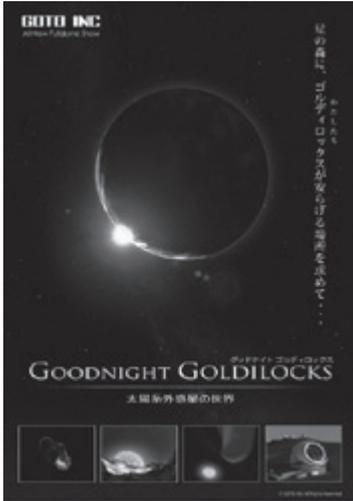


投映期間 10 月 11 日 (水) ～12 月 3 日 (日)

(エ) 「Goodnight Goldilocks 太陽系外惑星の世界」

太陽系外惑星探査の成果に基づき、生命が存在

するのにちょうどいい「ゴルディロックズゾーン」を探す旅を描いた番組。



放映期間 12月5日(火)
～2024年3月10日(日)

(オ)「イナズマデリバリー バイザウェイの宇宙旅行?!」

宇宙人バイザウェイが銀河やブラックホールを経由しながらも地球を目指して宇宙を旅する3DCGアニメーション番組。



放映期間 2024年3月12日(火)～

イ ファミリーアワー

幼児から小学校低学年やその家族を対象に、プラネタリウムに親んでもらう最初のお機会として

毎週土曜・日曜、祝日及び学校長期休業中に実施した。全体の放映時間は45分間(平常時は歌や掛け声を交え、ワクワク感を高めるなどの工夫)。また、番組放映の前には当夜の星空を紹介。

(ア)「テンテンのさがしもの」

パンダのテンテンたちが、友人のために光る赤いものを探して宇宙に飛び立つ話を通して、惑星や月、十二星座など、身近な天体について紹介する番組。

放映期間 3月10日(金)

～2024年3月10日(日)

(イ)「ほしのくにでみつけたたからもの」

たっくんは動物が苦手。飼い猫のキキが病気になったのは自分のせいだと思い込み、キキの友達(こぐま座のアル)とどんな病気も治すミルクを探しに星の国へ。十二星座も紹介する内容。

放映期間 2024年3月15日(金)～

ウ 学習放映

小中学校の理科・天体学習の理解を深めるため、学校団体向けの放映を行うもの。当夜の星空を中心に、星座、惑星、太陽・月・星の動きなどを生解説し、学年に合わせたテーマ番組の放映を行った。また、熊本市立小学校は5年生時に集団宿泊教室を行うことから、目的地に向かう前に当館を訪れてもらい、その際にプラネタリウム放映を行っている。宿泊教室以外の「学校行事等」での利用にも応じている。各種番組の内容は以下のとおり。

学習放映番組一覧

【星が見てきた KUMAMOTO】

熊本市立小学校5年生時に行われる「集団宿泊教室」の事前学習として、宇宙の誕生から現在の熊本に至るまでの歴史を紹介。

放映回数：10

<p>【むしむし星空大行進】</p> <p>小学校1・2・3年生向け</p> <p>星座神話にちなんだ名前の昆虫たちを通して星や生物に親しむ内容で、四季の星座や太陽系の天体、南半球の星座などを紹介。</p> <p>放映回数：8</p>
<p>【スタジオ444～空のフシギをさぐれ!～】</p> <p>小学校4年生向け</p> <p>教科書での学習内容に合わせ、月の見え方や星の明るさ、色の違い、時刻による見え方の違いなどを説明。</p> <p>放映回数：13</p>
<p>【ポワンとフーニャンの宇宙調査隊～月と太陽のひみつ～】</p> <p>小学校6年生向け</p> <p>教科書での学習内容に合わせ、月の見え方と太陽・月の位置関係、月と太陽の表面の様子の違いなどを説明。</p> <p>放映回数：1</p>
<p>【この空に願いをこめて…】</p> <p>中学生向け</p> <p>教科書での学習内容に合わせ、日周運動、年周運動、月の公転と満ち欠け、太陽系の天体、銀河系、宇宙の構造などについて説明。</p> <p>放映回数：5</p>

エ 幼児団体向け放映

幼稚園や保育園などの幼児団体向けの放映を行うもの。放映時間は45分間で、星空の紹介（生解説）と幼児向け番組の2部構成。放映期間と内容は、前述のファミリーアワーと同様である。

(ア) 七夕特別放映

七夕をテーマに特別に構成した幼児団体放映を行った。放映内容は、七夕の星空解説と七夕物語上映に加えて、幼児番組「テンテンのさがしもの」を含めた45分間。

日 時 6月20日（火）～7月7日（金）

回 数 24回

観覧者 2,706名

オ 字幕付きプラネタリウム

プラネタリウムの放映は映像と音声で構成されており、聴覚に障がいのある人にとっては、通常の放映では内容が十分に伝わらない面がある。そこで、聴覚に障がいのある人も一緒にプラネタリウムを楽しむことができるよう、字幕付きプラネタリウムを実施した。字幕については、熊本県聴覚障害者情報提供センターにご協力をいただき実施した。

(ア) 第50回字幕付きプラネタリウム

放映番組「470億光年の、その先へ」

日 時 5月13日（土）

① 12：40～13：35

② 14：10～15：05

観覧者 ① 36名 ② 67名



(イ) 第51回字幕付きプラネタリウム

放映番組「虹の天象儀」

日 時 11月19日（日）

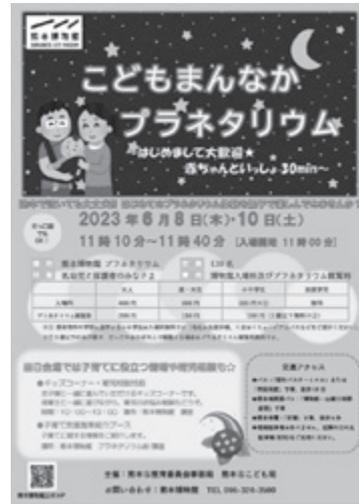
① 12：40～13：35

② 14：10～15：05

観覧者 ① 47名 ② 36名



日時 ① 6月8日(木) ② 6月10日(土)
11:10~11:40
観覧者 ① 100名 ② 130名



(ウ) 第52回字幕付きプラネタリウム
放映番組「水の惑星」

日時 2024年3月2日(土)
① 12:40~13:35
② 14:10~15:05
観覧者 ① 63名 ② 48名

(イ) 熟睡プラ寝たリウム
全国一斉「熟睡プラ寝たリウム」の開催に合わせ、気持ちよく眠っていただくためのプログラム放映を行った。

日時 11月23日(木・祝)
① 11:10~12:00
② 15:40~16:50
観覧者 ① 46名 ② 75名



カ 特別放映

(ア) こどもまんなかプラネタリウム
～はじめまして大歓迎☆30min～

熊本博物館と熊本市子ども局主催の特別プログラム。赤ちゃん連れの方や、プラネタリウムに行きたいけど遠慮している方々へ、少し短い30分間、出入りも自由で、気軽に参加してもらえるように企画したプログラムを行った。

(ウ) クリスマス特別放映
23日はバス・電車無料 DAY と重なり、24日はクリスマスイブだった為、最終放映をクリスマススペシャルと題し、クリスマスにちなんだ星空解説を交えた特別放映を行った。

日 時 ①12月23日(土)15:40~16:35

②12月24日(日)15:40~16:35

観覧者 ① 32名

②※館内設備停電の為、臨時休館

(エ) アーティストウィーク熊本2024「プラネタ
リウム音楽祭」

熊本市在住アーティスト2組の演奏と星空解説
を組み合わせ、音楽と星空・宇宙の映像をオリジ
ナルで組み合わせた特別投映を行った。

日 時 2024年2月4日(日)

15:40~16:40

観覧者 152名(満席)

(オ) 2月熊博誕生月間でのプラネ特別番組投映
熊博月間では、3回来場でプレゼントをもらえ
る企画がある為、リピーターの方が多くなる。そ
れに合わせて、毎週末のファミリーアワー(11時
10分)と最終回(15時40分)を特別番組として
様々な番組の投映を行った。

日 時 ① 2月10(土)~2月12日(月・祝)

② 2月17(土)~2月18日(日)

③ 2月23(金・祝)~2月25日(日)

投映番組

① ファミリー「むしむし星空大行進」

3回 266名

最終回 「星の光は時のトビラ」

3回 180名

② ファミリー「キラキラ森のなかまたち」

2回 62名

最終回 「星の森」

2回 96名

③ ファミリー「みちしるべのほし」

3回 249名

最終回 「ユニバース」

3回 203名

(カ) 旅立ち応援スペシャル投映

3月は卒業シーズンということで、小学校から
中学校等へとステップアップする子供たちや熊本
から他県へ旅立つ人たちを熊本博物館からお祝い
するという意味合いをこめて特別投映を行った。

日 時 3月20日(水・祝) 15:40~16:30

観覧者 31名

(3) 天文講演会

「金星大気 ~ 長期変動に挑み続ける探査機

『あかつき』」

金星探査機『あかつき』による金星大気の長期
変動の最新科学成果や金星の風速の強さを地球
上で実体験している動画を観賞。JAXA(相模原キ
ャンパス)とZOOMでつなぎ、『あかつき』チーム
の田口氏・今村氏・山崎氏とのリモート交流会を
行った。

日 時 11月4日(土) 14:00~16:00

講 師 佐藤 毅彦氏(理学博士)

略 歴 JAXA宇宙科学研究所教授、総合研究
大学院大学宇宙科学コース教授、北海道大
学大学院客員教授。

専門分野は惑星大気圏・電磁気圏科学。

『あかつき』金星探査(2マイクロン・カメラ
責任者、プロジェクトサイエンティスト兼
務)を主に、海外ミッションにも協力。

科学教育分野においてもインターネット
天文台、星座カメラi-CANなどを開発・活
用し積極的に取り組んでおられる。

参加者 31名



【講演会ポスター】



【講演会の様子①】



【講演会の様子②】